



—淡路の情報いっぱい！生活創造しんぶん—

月刊

ポケットあわじ

3月



淡路まんぷく物語



VOL.202

もくじ P1◎醤油 P2◎塩 P3◎酢 P4◎味噌 P5 ポン酢、古代の塩づくり、おかず味噌
P6 淡路文化会館・兵庫県生きがい創造協会・兵庫県淡路県民局・淡路島くにうみ協会からのお知らせ P7.8 淡路の文化活動・イベント情報

センザン醤油は、明治時代から約130年続く淡路で唯一の醤油醸造元です。4代目の秦 紳一郎さんにお話をうかがいました。センザン醤油は、良い水、国産の大豆と小麦、塩で作る添加物を混ぜない昔ながらの手作り天然醸造醤油です。醤油蔵に住み続ける微生物もとても大事だそうです。



センザン醤油 創業明治23年 手作りの天然醸造醤油



商品は、こいくち醤油、うすくち醤油、さしみ醤油、ゆずぼん酢しょうゆの他、純正かけ醤油、純正うすくち醤油などです。この辺りは、地下水が良いので昔は近くに造り酒屋などもあったそうです。今ほど流通が発達していない昔は、各集落に醤油醸造元があったそうで、センザン醤油さんの近所にも3軒の醤油醸造所があったとか。2代目の昭和30年～40年頃は、車で四国の山奥の小売りのお店にまでお醤油を配達していたそうです。

★センザン醤油グルメ★



島の食材との相性抜群！
島で唯一の醤油醸造元 **センザン醤油**
南あわじ市八木新庄301-1 Tel. 0799-42-0001 fax 0799-42-0025

4代目 秦 紳一郎社長

淡路ハイウェイオアシスでは、センザン醤油のラーメンとソフトクリームを食べることができます。ハイウェイオアシス1階の物産館店長の岩鼻優介さんは、「センザン醤油の秦社長が、『昔から何も変えていない製造』と言っていますが、それが素晴らしい。昔ながらの天然醸造がすごいんです。」とおっしゃっていました。淡路ハイウェイオアシスへ淡路の醤油と玉ねぎの美味しいラーメンと和風味のソフトクリームを是非食べに行ってください。地元の醤油は地元の味。根っからの淡路の人間にとって安心できる味です。

(応援隊：坂本厚子、村上紀代美、川原雅代)



蔵に住み続けている微生物も醤油づくりの立役者

海からの贈り物 五色の浜雪

塩の結晶



代表の末澤 輝之さん

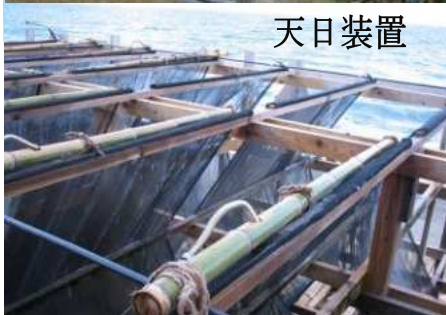
脱サラファクトリー
代表:末澤 輝之さん
〒656-1301
洲本市五色町鮎原鮎の郷452-31
TEL 0799-30-2501(代)



塩作り小屋



天日装置



「……淡路島 松帆の浦に 朝なぎに 玉藻刈りつつ 夕なぎに 藻塩 焼きつつ 海人娘女(あまをとめ)……」(万葉集巻6の935)

万葉集で『藻塩焼き』が詠まれているように、古代から淡路島では製塩が行われ、航海術とともに当時の王権を支えた海人族がそれを担ってきたと言われています。

今回、7年前に神戸から淡路島へ移住し、「自凝雪塩」(おのころしづくしお)の生産販売を行って6年になる洲本市五色町の脱サラファクトリー代表の末澤輝之さんを訪ねました。

末澤さんは、以前、飲食の仕事をしている時、人から「ありがとう」と言われる喜びを感じていたのですが、食材に興味・関心を持ち始め、ついには、食材を生かし引き立てる「水と塩」に行き着いたそうです。そして、塩作りの道へ。昔からの製法に時代に合わせた方法を加え、安心・安全を第一に考えて、海水の成分の塩を作りを始めました。まず、淡路島の海水を高圧フィルターでろ過した後、天日で濃縮します。そして、鉄釜を使いじっくりと薪で焚きながら煮詰めて結晶化します。まさに、時間をかけた工程を経て、海から塩をいただくということなのです。

鉄釜

薪で焚きながら濃縮



濃縮し塩の結晶ができる。



安心・安全を第一に考えた 海水成分の塩作り

この塩は、辛いだけではなく、苦味や甘味がほんのりと感じられます。このことから、味付けの基礎になり、素材を生かし、引き出す調味料となるのです。最近、テレビドラマの中でも塩作りが取り上げられ、話題になりました。

末澤さんは、人間が生きて行くうえでの必需品である「塩」は、ちゃんと作ろうと思えばとても手間がかかり、苦労も多い。けれど、人に喜んでもらえ、必要とされるこの塩作りを”生業(なりわい)”としてずっと続けていきたいと熱く語られました。おのころ島の伝承がある淡路島、そして、播磨灘を望む五色の浜で作られた『五色の浜雪 淡路島産 自凝雪塩』から多くの人たちに「ありがとう」の気持ちが広がっていくことでしょう。なお、『自凝雪塩』は、道の駅うずしお、福良マルシェなど主な土産物店でお買い求めできます。

(応援隊:中田 浩嗣)

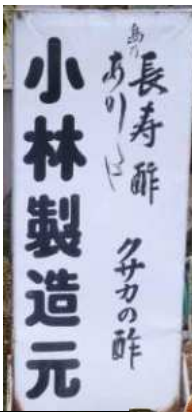
造り続けて124年

料理酢『クサカの酢』

す



明治28年創業



お酢を毎日飲んで元気がいっぱい!



一子相伝の技で造る『クサカの酢』



“飲みやすさ1番”



五代目 小林 俊隆さん(90才)

国生みの島・淡路が生んだ“本物の味・飲む酢(健康飲料)”誕生!

「さしすせそ」の「す(酢)」は『クサカの酢』を紹介します。淡路市草香で製造販売されているクサカの酢は、明治28年に創業。現在この酢を守り続けているのは、5代目になる小林俊隆さん(90歳)です。創業して124年という悠久の歴史も驚きですが、小林さんの年齢を感じさせないお仕事ぶりやお話しぶり、何より肌つやのよさに仰天です。さて、そのパワーの秘密は、お酢と何か関係あるのでしょうか。

お酢の効果効用



お酢の正体

糖分の発酵によって生じる酢酸を主成分とした調味料。ミネラル(ナトリウム・カルウム)、有機酸(クエン酸)が豊富。



お酢の効能

食欲促進と消化促進、減塩効果と塩分排泄、殺菌作用と消毒作用、ビタミン・ミネラルの摂取促進、肝機能向上と二日酔い防止、肥満防止と成人病予防、コレステロールの抑制、過酸化脂質の抑制等の効果があるとされています。



お酢の用法

- ・ストレートやオンザロックで
- ・ドレッシングとして
- ・ポン酢代わりに
- ・大根おろしに
- ・酢卵・酢大豆に
- ・焼き魚に



《製造元》 小林醸造所 淡路市草香700-2
 代表 小林 俊隆
 Tel (Fax) 0799-86-0148
 各酢共郵送可能

(応援隊:瀬戸 由美子)

手づくりのこうじみそ

素材のうまみを醸し出した
健康的な味噌



保地 明さん

優しい味のお味噌汁♪

神戸淡路鳴門自動車道仁井バス停から徒歩で数分の場所に「保地みそ」の看板が見えます。保地 明さんの父健三さんが知り合いの自然消費者団体「よつば牛乳を飲む会」(現あしの会)の会員の方に、祖母が

保地味噌醸造所

代表者 保地 明
淡路市小田514
電話 0799-82-0190



造った味噌を手土産に渡したのがきっかけで、昭和39年にその会の依頼で味噌の製造を始めたそうです。平成14年に父親が体調を崩し、それまで味噌とは全く関わりのない職業だった明さんが、Uターンして味噌づくりを始めることになりました。最初は、ご両親の手ほどきを受けながら味噌づくりに挑戦しましたが、味噌づくりは麴(こうじ)づくりが一番むずかしく、味噌とは関係ない麴づくりが専門の方にもいろいろ教えていただき、現在に至っているとのことです。



保地味噌醸造所のモットーは、「安全・安心の食生活を応援します」。こだわりの原料を使い、シンプルに素材のうまみを醸し出した健康的な味噌を、毎日食べていただける価格で、消費者のみなさんに提供しますと、明さんは胸を張っておっしゃっています。毎年、6月と7月を中心に、約15トンの仕込みを行い、半年位寝かせた後、消費者の元へお届けしているとのこと。保地さんのやさしい雰囲気から、大豆、麴の一粒一粒に愛情を込めて造っているのがひしひしと伝わってきました。

昔は冬の家庭行事 味噌づくり

冬の家庭行事だった味噌づくりを通じて家族、地域の絆を深め、地域の人たちがつながりあうことの大切さを確認し、来るべき東南海地震に備えようと、1月20日“味噌づくり&防災講演会”が育波中央公園と育波公民館で開催されました。

キッズコーナーでは、こま回し、けん玉、羽子板などを子ども達と一緒に大人も若い頃に戻って楽しみ、三世代交流で楽しい時間を共有しました。日頃のつながりが大切と、いろいろなグループが協力し、炊き出し訓練を兼ねて豚汁のふるまいもありました。

地元を離れて住んでいる若者も集まることのできるこのような催しが必要だと、代表の柏木さんは力強くおっしゃっています。(応援隊: 廣岡 ひろ子)



大豆を煮ています

味噌づくりで 家族、地域の絆を共有

育波地区社会福祉協議会
代表者 柏木 英樹
住所 淡路市育波145-3
電話 0799-84-0161



いいにおい~

豆がニユルって出てきた~

育波地区社会福祉協議会

ポン酢

ちり鍋
やらんかれー

このポン酢
おいしいだあー

くせになる味やなあ〜



「本家たかはし」のポン酢作りの始まりは、八百屋を営んでいた創業者が昭和30年代に自分好みのポン酢を作り始めたことからでした。そのポン酢を知人などに分けていたところ「とても美味しい」と評判になり、昭和50年(1975年)から商売として自家製ポン酢の販売を始めたそうです。

作り始めた時からこだわっているのがすだちです。徳島県特産のすだちを使うことで、香り高いまろやかな酸味と甘みを出しています。このすだちは、旬の時に1年間に使用する分を仕入れ、果汁を絞り、自社製「すだち酢」になります。このすだち酢に本醸造醤油、カツオ・昆布だしなどを配合して、絶妙の酸味や旨味が料理の味を最高に引き立てるポン酢に仕上げているとのこと。

ポン酢といえば、ちり鍋料理にはもちろん焼き魚、焼き肉、冷奴、一味加えてドレッシングなどいろいろな料理に1年を通じて重宝しますよね。三代目の高橋垂岐さんは、「本家たかはしのポン酢は、マイルドな味に仕上げているので、子どもさんからお年寄りまでご利用いただけます。これからも先代からの味を守っていきたくと思っています。また、土佐風三杯酢も美味しいですよ。」と話されていました。

私も調味料としてポン酢をよく使いますが、このポン酢はツンとする刺激がなく、柔らかかでもとてもさっぱりした「くせ」になる味でした。
(応援隊:田処 吾久)



柔らかでさっぱりした味

「本家たかはし」のポン酢

すだちのまろやかな酸味と香り



料理の味を最高に引き立てるポン酢です。

「本家たかはし(株式会社たかはし)」
洲本市塩屋3丁目1-24 電話 0799-22-1123

① 貴船神社遺跡

塩 古代の塩づくり



野島の浦に位置する古墳時代から奈良時代にかけての製塩遺跡。



1. 海草を集め天日で干す。



2. 焼いた海草に海水をませ、濃い塩水をつくる。

3. 濃い塩水を煮つめる。



4. 製塩土器から、塩をとりだす。

大量生産された塩は都にも運ばれました。



濃い塩水を作って
土器の中で蒸留していきます。

わたしら
野島の海人

ええ塩つくって
都のえらい人に
つこてもらいますねん。

熱効率の良い石敷炉

緑の道しるべ 淡路市大川

海人(あま)が生業とした土器製塩の様子をモニュメントで見ることができる貴船神社遺跡。この場所は、日本書紀にも登場する「野島の海人」の活動拠点とされています。ドラマ「まんぷく」の塩づくりのシーンを思い出しました。
(応援隊:岡 まさよ)

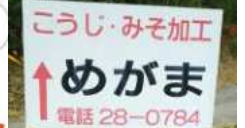
② 味噌 めがまさんの おかずみそ

知る人ぞ知る目釜さんの「おかずみそ」親戚のおじさんも淡路に帰ってきたら絶対食べたくなると言います。ご飯がすすむこと間違いなしです。
(応援隊:田村 ひろ子)



こりや
うまいわ!

昔ながらの
懐かしいおいしさ



目釜こうじみそ加工店
洲本市安平町北谷1041
Tel. 0799-28-0784



淡路文化会館

60歳から始める大学

淡路文化会館

いざなぎ学園



平成31年度

受講生募集

※東日本大震災県内避難者の方は優先入学とし、2020年度までの受講料を免除します。

募集期間

平成31年1月9日(水)~4月12日(金)

申込方法

詳しい申し込み方法は、下記まで問い合わせください。
また、「淡路文化会館」のホームページからも申し込みできます。

いざなぎ学園の詳しい様子は
ホームページ内の「学園だより」でご覧いただけます。

【問い合わせ先】

(公財)兵庫県生きがい創造協会淡路文化会館
〒656-1521 淡路市多賀600
☎ 0799-85-1391 FAX 0799-85-0400
淡路文化会館ホームページもご覧ください
<https://www.awaji-bunkakaikan.jp/>



主催：(公財)兵庫県生きがい創造協会淡路文化会館

兵庫県淡路県民局からのお知らせ

宅配業者をかたるメールに注意!

大手配送業者をかたった、SMS(ショートメッセージサービス)での偽通知トラブルが急増しています。

【事例】

スマホに佐川急便からSMSで不在通知が届いた。その中にURLが記載されていたので荷物追跡をするためにIDなどを入力した。



その後、全く身に覚えのないアプリ代金を請求されている。

【注意点】

- ・佐川急便ではSMSでの不在通知案内はしていない。
- ・このような場合は無視し、添付ファイルは開かない。
- ・メッセージ内にあるリンク先やURLを開かない。
- ・安易に個人情報を入力しない。

もし、このようなSMSが届いた場合は、最寄の消費生活センターにご相談ください。

兵庫県淡路県民局県民交流室
県民・商工労政課(消費者センター)
☎ 0799-26-3360
FAX 0799-24-6934
(土日祝日・年末年始は除く)



(公財)兵庫県いきがい創造協会からのお知らせ



ふるさとひょうご創生塾 第24期塾生募集!

地域の課題を学び、塾生自ら地域活動を企画、実践。地域づくりの担い手を育てる塾

塾期間 2019年5月~2021年3月【2カ年】

開講日

1年次 原則：毎月第2・3土曜+6月宿泊研修

2年次 原則：年間8回・土曜日+グループ実践活動

定員 約30名 受講料 30,000円(年間)

申込締切 4月30日(必着)

所定入塾申込書を郵送・FAXで!

塾開設場所 神戸クリスタルタワー内セミナー室

《JR神戸駅直近》

問合せ・募集案内請求・申込先

〒650-004 神戸市中央区東川崎町1-1-3

神戸クリスタルタワー6階(生涯学習情報コーナー内)

ふるさとひょうご創生塾事務局

☎078-360-9015 FAX078-360-9016

(一財)淡路島くにうみ協会からのお知らせ

淡路花祭2019春開催!

3月16日(土)にイングランドの丘で行うオープニングでは、和太鼓演奏やゆるキャラとの撮影会の他、花苗のプレゼントがあります(要事前申込)。その他、夢舞台国際会議場での「第26回全国ハーブサミットin淡路島」など、島内各所で多彩なイベントを開催。

日 3月16日①~6月2日②

会 イングランドの丘ほか淡路島全島で開催

注 施設により異なる

詳しくは「淡路花祭」ホームページへ

花街道づくり事業



島内の国道・県道沿い等で10㎡以上の花壇(休耕田も含む)を継続して維持管理できる個人や団体に対して、植栽費・維持管理費・花壇整備費を助成します。

◆募集期間：2019年3月1日~2020年2月28日

◆応募方法：当協会から申請書を取り寄せ、申し込んで下さい(申請書は当協会ホームページからダウンロードも可)。http://www.kuniumi.or.jp/

申込・問合せ先 (一財)淡路島くにうみ協会

〒656-0022 洲本市海岸通1丁目11-1

TEL 0799-24-2001 FAX 0799-25-2521

Eメール：awajishima@kuniumi.or.jp



◆淡路市立アソンプレホール

所〒656-2401 淡路市岩屋2942-17
 ☎0799-72-5321 ㊟0799-72-5322
 休月曜日(祝日の場合は翌日)

アソンプレ カラオケ大会

日 3月3日 ㊟ 時 13:00~(開場12:30) ㊟アソンプレホール ㊟無料
 ㊟アソンプレホール

◆淡路市立サンシャインホール

所〒656-2305 淡路市浦148-1
 ☎0799-74-0250 ㊟0799-74-0256
 時 10:00~18:30
 休木曜日/祝日(木曜日が祝日の場合は翌日)

プラネタリウム
inサンシャインホール

大型ドームいっぱい広がる、春の星座をお楽しみください。

日 3月23日 ㊟10:00~、13:00~、14:00~(各30分) ※定員各60名
 ㊟無料(整理券の予約が必要)

ふだんぎコンサート
~マーチに大行進~

日 3月24日 ㊟ 時 14:00開演
 ㊟500円(お茶とお菓子付) <未就学児無料>

未就学児も入場可能な子どもから大人まで気軽に楽しめるふだんぎコンサート。今回は美しい春の花の名曲と応援歌を、様々な楽器の音色と共にお届けします。

~香しき淡路島の春~
川久保賜紀 室内楽コンサート

世界的なソロイスツ達による室内楽コンサート

日 4月14日 ㊟ 時 15:00開演(14:30開場) ㊟一般2,500円
 学生・70歳以上1,500円 リザーブシート(指定席)はプラス300円

出演: 川久保賜紀(ヴァイオリン)
 遠藤 真理(チェロ)
 三浦友理枝(ピアノ)



◆淡路人形座 3月公演

所656-0501 南あわじ市福良甲1528-1地先
 ☎0799-52-0260 ㊟0799-52-3072

引き裂かれる親子の情愛
「阿波十」

定時公演

日 詳しい日程はお問い合わせください。
 時 10:00、11:10、13:30、15:00
 休毎週水曜日

①「人形解説」・「傾城阿波の鳴門 順礼歌の段」

㊟大人1,500円 中高生1,300円
 小学生1,000円 幼児300円

②「人形解説」・「戎舞」

㊟大人1,000円 中高生800円
 小学生600円 幼児200円

※上演内容は変更になる場合があります。

【3月特別企画】若武者の悲劇

「一谷嫩軍記 須磨浦組討の段」

源平の戦いに敗れ、福良湾に浮かぶ「煙島」に眠る平敦盛を偲び「一谷嫩軍記 須磨浦組討の段」を上演いたします。

日 3月21日 ㊟㊟~24日 ㊟ 時 11:10
 ㊟大人1,500円 中高生1,300円
 小学生1,000円 幼児300円

臨時公演

30名様以上・15日前までに予約必要 時 9:00、16:00

◆淡路島国営明石海峡公園

所〒656-2306 淡路市夢舞台8-10
 ☎0799-72-2000 ㊟0799-72-2100

早咲き桜まつり
~河津桜でお花見~

日 3月2日 ㊟~15日 ㊟ 場 春一番の丘(ほか) ㊟イベントにより異なる
 (別途入園料、駐車料金が必要)

春のカーニバル
「イエローアイランドパーティー」

日 16日 ㊟~29日 ㊟
 場 園内 ㊟イベントにより異なる
 (別途入園料、駐車料金が必要)

◆淡路市立しづかホール

所〒656-2132 淡路市志筑新島5-4
 ☎0799-62-2001 ㊟0799-62-6465
 休火曜休館

Pianoメンテナンス公開講座

メンテナンス時、フルコンサートピアノの部品をすべて取り外します。その様子を、みなさまに見ていただける公開講座! 普段は見ることのできないピアノの姿を一緒に見ながら学びませんか。

日 3月17日 ㊟10:00(開場) 10:30(開演)
 ㊟無料(※事前申込が必要)

ジャズダンス教室 募集

子どもから大人まで、初心者でも大歓迎です。一緒に楽しくDANCEしましょう。

日 3月8日 ㊟、15日 ㊟、22日 ㊟
 時 キッズ(~小学生) 17:00~18:30
 フリー(中学生~) 19:00~20:30
 場 しづかホール リハーサル室
 ㊟キッズ: 3,150円(月3回)
 フリー: 3,300円(月3回)or都度払い

◆兵庫県立淡路夢舞台温室
「奇跡の星の植物館」

所〒656-2306 淡路市夢舞台4
 ☎0799-74-1200 ㊟0799-74-1201
 時 10:00~18:00 (最終入館17:30)

淡路夢舞台ラン展2019—
ランオークション

日 3月10日 ㊟13:30~
 ㊟大人1,500円、70歳以上750円、
 高校生以下無料

花見の庭2019—
櫻舞う平成最後の花見の庭

日 3月16日 ㊟~4月14日 ㊟
 ㊟大人600円、70歳以上300円、
 高校生以下無料

花見の庭2019—
コスプレ撮影会

日 3月24日 ㊟
 ㊟専用サイトから事前申込が必要
 ㊟大人600円、70歳以上300円、
 高校生以下無料
 ※参加者は別途参加費が必要



◆淡路文化会館

所 〒656-1521 淡路市多賀600
 ☎0799-85-1391 ☎0799-85-0400
 時 9:00～17:00 観覧無料

平成30年度「いざなぎ学園」作品展

淡路文化会館「いざなぎ学園」受講生の作品展示

日 2月28日(土)～3月12日(火) 美術展示室・県民ギャラリー

平成30年度
淡路日本画セミナー作品展

淡路文化会館「淡路日本画セミナー」の受講生の作品展示

日 3月15日(金)～4月4日(水) 美術展示室・県民ギャラリー

ドキュメンタリー映画上映会&講演会
「1/4の奇跡

～本当のことだから～

講師 山元 加津子(出演者)
岩崎 靖子(助監督)

日 3月30日(土) 時 上映会①10:00～
②18:00～ 講演会14:00～

※受付は各回30分前より

☎ 洲本市中山間総合活性化センター (洲本市五色町鮎原宇谷352)

¥(前売)大人1000円、高校生以下500円、小学生以下無料
(当日は500円UP)

☎ ①ミラクルシードプロジェクト
E-mail: kokone.hatsuga@gmail.com
TEL: 090-8652-7901(元木)

◆洲本市文化体育館

所 656-0021 洲本市塩屋1-1-17
 ☎0799-25-3321 ☎0799-25-3325

○洲本少年少女合唱団
定期演奏会

日 3月16日(土) 時 開場13:30、開演14:00
 ☎ 会議室1A ¥無料

○淡路フィルハーモニー管弦楽団
第25回定期演奏会

日 3月17日(日) 時 開場13:30、開演14:00
 ☎ 文化ホール『しばえもん座』 ¥無料

○フラフェスタ15th Anniversary

日 3月21日(水) 時 開場14:30、開演15:00
 ☎ 文化ホール『しばえもん座』 ¥前売4,500円(全席自由)

☎ ①ビリーレイプア・クミコ

TEL:090-3088-6073

○洲本吹奏楽団
第34回定期演奏会～SF演奏会～

「SF(すこしふしぎ)」な演奏会
(Special Fantastic, Sukoshi Fushigi, Susui Family洲校吹部と共に)

日 3月24日(日) 時 開場13:30、開演14:00
 ☎ 文化ホール『しばえもん座』 ¥無料



◆洲本市民工房

所 〒656-0021 洲本市塩屋1-1-17
 ☎☎0799-22-3322

傑作!できばえおみごと展

洲本市民工房利用者による絵画・書道・手工芸・絵手紙などの作品展

日 3月2日(土)～9日(土) 時 10:00～17:00(最終日は16:00まで)7日(土) 休館 ☎ 3Fギャラリー ¥鑑賞無料

第15回洲本実業高校
美術部・報道部作品展

部活動で制作した絵画・ポスター・写真などの展示

日 3月16日(土)、17日(日) 時 9:00～20:00 17日は16:00まで
 ☎ 3Fギャラリー ¥鑑賞無料

第7回島内高校美術部作品展

日 3月24日(日)～26日(火) 時 9:00～17:00(24日は正午から、26日は15:30まで)
 ☎ 3Fギャラリー ¥観覧無料

◆洲本市民交流センター

所 〒656-0054 洲本市宇原1788-1
 ☎0799-24-4450 ☎0799-24-4452

淡路洋画セミナー作品展

淡路文化会館淡路洋画セミナーの受講生が制作した洋画、デッサンを展示します。

日 3月3日(日)～15日(金)
 時 9:00～21:00 休月曜休館
 ☎ 1階アールギャラリー ¥観覧無料

編集だより

もうすぐ春ですね。暖かくなってきて、外出もしやすくなりますね。お散歩、お花見、ハイキング。美味しいお塩でおにぎりを作って、出かけてみませんか。

(応援隊:小原 町子)

お詫びと訂正

ポケットあわじ200(1月号)のP2「延喜元年(901年)後醍醐天皇」は「醍醐天皇」、同じくP2「中川原町宮野原」は「安乎町宮野原」の誤りでした。謹んでお詫び申し上げます、訂正させていただきます。

「ポケットあわじ」は、応援隊の手により取材や編集がされ、毎月3,500部発行しています。そして、島内各市の庁舎・公民館・商業施設など約250カ所に無料配布しています。今後ともご愛読よろしくお願ひします。また、読者の皆さまからのお便り、情報をお待ちしています。淡路文化会館のホームページにも掲載していますので、是非ご覧ください。

(発行)淡路生活創造応援隊 淡路文化会館・淡路文化会館運営協議会

☎ 656-1521淡路市多賀600
 ☎ 0799-85-1391 ☎ 0799-85-0400
 E-mail: a-pocket@hyogo-ikigai.or.jp
 H P : https://www.awaji-bunkakaikan.jp/

私たちはポケットあわじを応援します。

